

## 令和7年度 自治基本条例職員研修実施結果

1. 実施期間 : 令和8年2月17日～令和8年3月6日
2. 受講対象職員数 : 2,193名
3. 回答職員数 : 2,136名(回答率:約97.40%)
4. 全問正解者数 : 1,858名(回答者全体の約86.99%)
5. 設問及び解答と設問ごとの正答率

## ■設問1

茅ヶ崎市自治基本条例の目的は、自治の主体である( )がこの茅ヶ崎市のことを自分たちで決めていくことを推進することになります。

( )に入る単語を次の選択肢から1つ選び、丸を付けてください。

1. 市民
2. 議員
3. 行政職員
4. 市長

解答 : 1. 市民 正答率:99.78%

## ■設問2

茅ヶ崎市自治基本条例第11条「職員の責務」では、多様化し、複雑化している社会にあって、地域の課題を解決し、市民に提供するサービスの質を向上させるためには、職員が職務の遂行に必要な( A )と( B )に努めなければならないことが規定されています。

( A )と( B )に入る言葉の正しい組み合わせを、以下の選択肢から1つ選び、丸を付けてください。

1. A:知識の習得 B:健康管理
2. A:知識の習得 B:能力の向上
3. A:職場環境の整備 B:健康管理
4. A:健康管理 B:能力の向上

解答 : 2. A:知識の習得 B:能力の向上 正答率:99.53%

## ■設問3

令和6年度に実施した茅ヶ崎市自治基本条例の検証の結果、自治の推進を図るための講ずる措置として引き続き( A )と( B )を図ることを目指すべきものとして掲げています。

( A )と( B )に入る言葉の正しい組み合わせを、以下の選択肢から 1つ 選び、丸を付けてください。

1. A: 条例の普及      B: 計画的な見直し
2. A: 条例の理解促進      B: 市民参加の活性化
3. A: 条例の定着      B: 安定的な運用
4. A: 条例の改善      B: 条例の安定化

解答 : 3. A: 条例の定着      B: 安定的な運用      正答率:94.28%

## ■設問4

設問3の講ずる措置で徹底することとした「市政運営の基本原則」は、次の3つの原則である。

- 1 市政説明の原則
- 2 情報共有の原則
- 3 「 A 」

「 A 」に入る言葉の正しいものを、以下の選択肢から 1つ 選び、丸を付けてください。

1. A: 市政参加の原則      2. A: 協働推進の原則
3. A: 公文書管理の原則      4. A: 情報公開の原則

解答 : 1. A: 市政参加の原則      正答率:96.32%

## ■設問5

令和7年度以降は、全庁的に設問3の講ずる措置に掲げた取組を継続的に実施し、「市政運営の基本原則」が徹底されるよう( A )、その取組状況について振り返りを行うことで次年度の取組に繋がります。その一連のサイクルを踏まえ、( B )に検証を行い、茅ヶ崎市における自治を推進していきます。

( A )と( B )に入る言葉の正しい組み合わせを、以下の選択肢から 1つ 選び、丸を付けてください。

1. A: 毎年度      B: 4年を超えない期間毎
2. A: 2年に一度      B: 4年を超えない期間毎
3. A: 毎年度      B: 2年を超えない期間毎
4. A: 3年に一度      B: 6年を超えない期間毎

解答 : 1. A: 毎年度      B: 4年を超えない期間毎      正答率:96.48%